



# むかわ町穂別の古生物化石群

## ～恐竜時代の息吹が伝わる日本有数の海と陸の化石群～



むかわ町穂別地域は、古くから古生物化石の宝庫として研究者や愛好家に知られる。中生代後期白亜紀の海底の地層が分布し、道天然記念物のクビナガリュウ化石『ホベツアラキリュウ』をはじめとする海生爬虫類やアンモナイトなどが多数産出。地元産の貴重な化石資料を収集・保管・展示する穂別博物館を有する。さらに近年、国内最大の恐竜全身骨格化石・ハドロサウルス科『むかわ竜』が発見され、全国的な注目を集める。日本有数の海と陸の古生物化石が揃う博物館には、国内外の第一線で活躍する研究者が集い、また、子どもたちの学びの場ともなっている。